

週間漁海況情報—第20号

平成23年5月16日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.5.16)を示した。

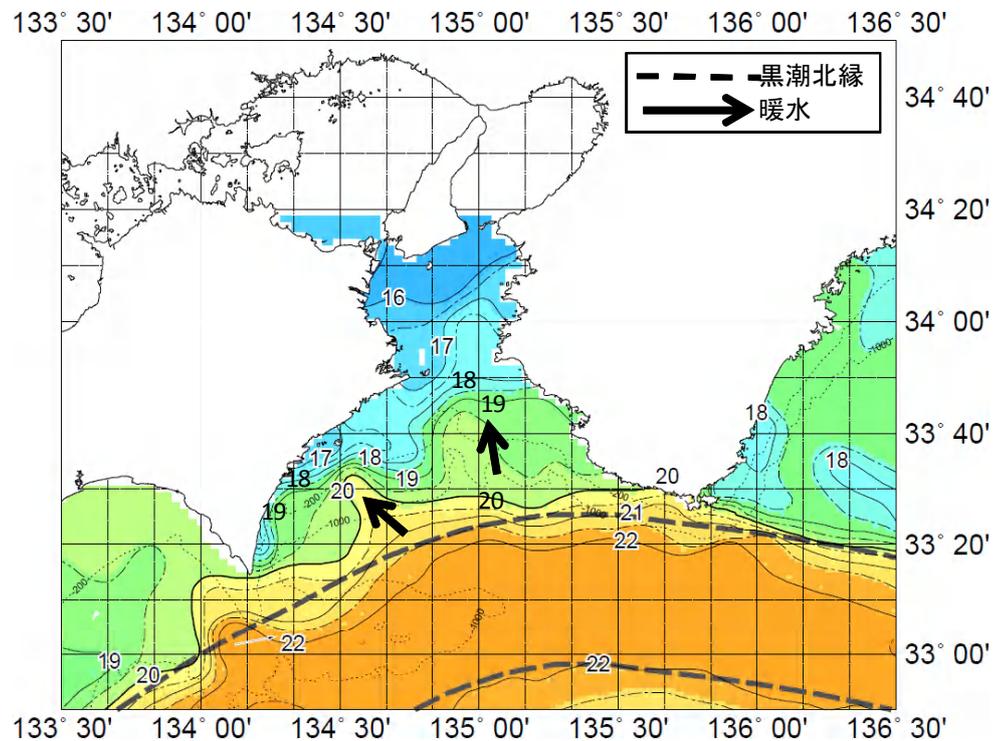
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、20～22℃台である。

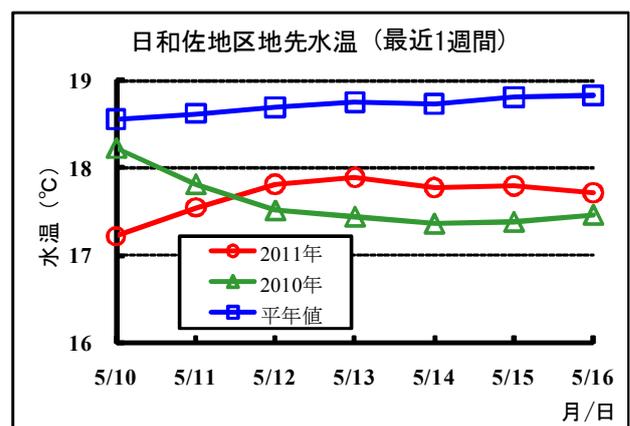
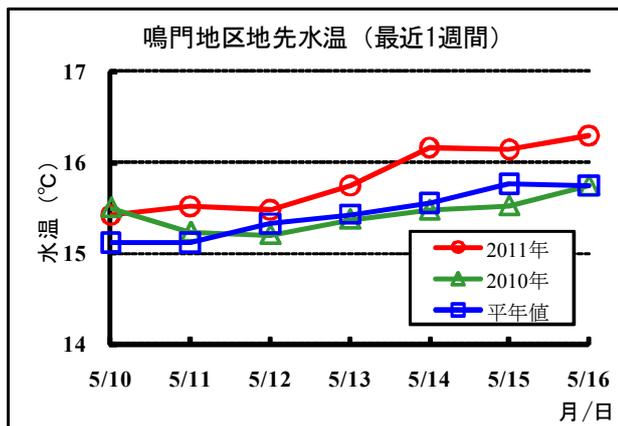
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で15～16℃

台、紀伊水道で15～17℃台、海部沿岸で16～20℃台である。

紀伊水道外域では、先週徳島県寄りにみられた暖水流入が弱まりつつあり、海部沿岸下灘まで18℃以下の内海系水に広く覆われている。また、和歌山県に沿ってやや強い暖水流入がみられ、暖水の先端が紀伊水道内まで浸入している。



地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の15.4～16.3℃、日和佐地区で「やや低め」の17.2～17.9℃、牟岐地区は「低め」～「やや低め」の16.4～17.4℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

2. 海況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.3トン（1日1隻当たり21kg）、スルメイカが2.6トン（同74kg）、小主体でマアジが22.4トン（同288kg）、マイワシが2.3トン（同129kg）、小主体にマルアジが0.2トン（同31kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.4トン（同58kg）、特大主体でイサキが0.5トン（同68kg）、クロマグロが7本で0.4トン（同56kg）、小主体でスルメイカが0.6トン（同80kg）、中主体にトビウオ類が0.4トン（同53kg）、ブリが1.1トン（同160kg）、メジロが6.2トン（うち5月13日に4.4トン（810本））（同879kg）、中主体にハマチが1.7トン（同237kg）、大主体にマアジが6.9トン（同991トン）、中主体にマダイが0.3トン（同49kg）、マルソウダが0.3トン（同37kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にマアジが0.5トン（同14kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが11.8トン（同200kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 5月9日～5月15日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他		
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	15	309	21			
		スルメイカ	35	2,600	74			
		マアジ	78	22,436	288	小主体		
		マイワシ	18	2,323	129			
		マルアジ	7	216	31	小主体		
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	7	403	58	大主体		
		イサキ	7	478	68	特大主体		
		クロマグロ	7	391	56	7本		
		スルメイカ	7	557	80	小主体		
		トビウオ類	7	370	53	中主体		
		ブリ	7	1,121	160			
		メジロ	7	6,155	879			
		ハマチ	7	1,659	237	中主体		
		マアジ	7	6,936	991	大主体		
		マダイ	7	344	49	中主体		
		マルソウダ	7	262	37			
		釣り		マアジ	35	474	14	大主体
		パッチ網	紀伊水道	シラス	59	11,800	200	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の16℃台、日和佐地先は「やや低め」～「平年並み」の17～18℃台前半で推移する見込み。